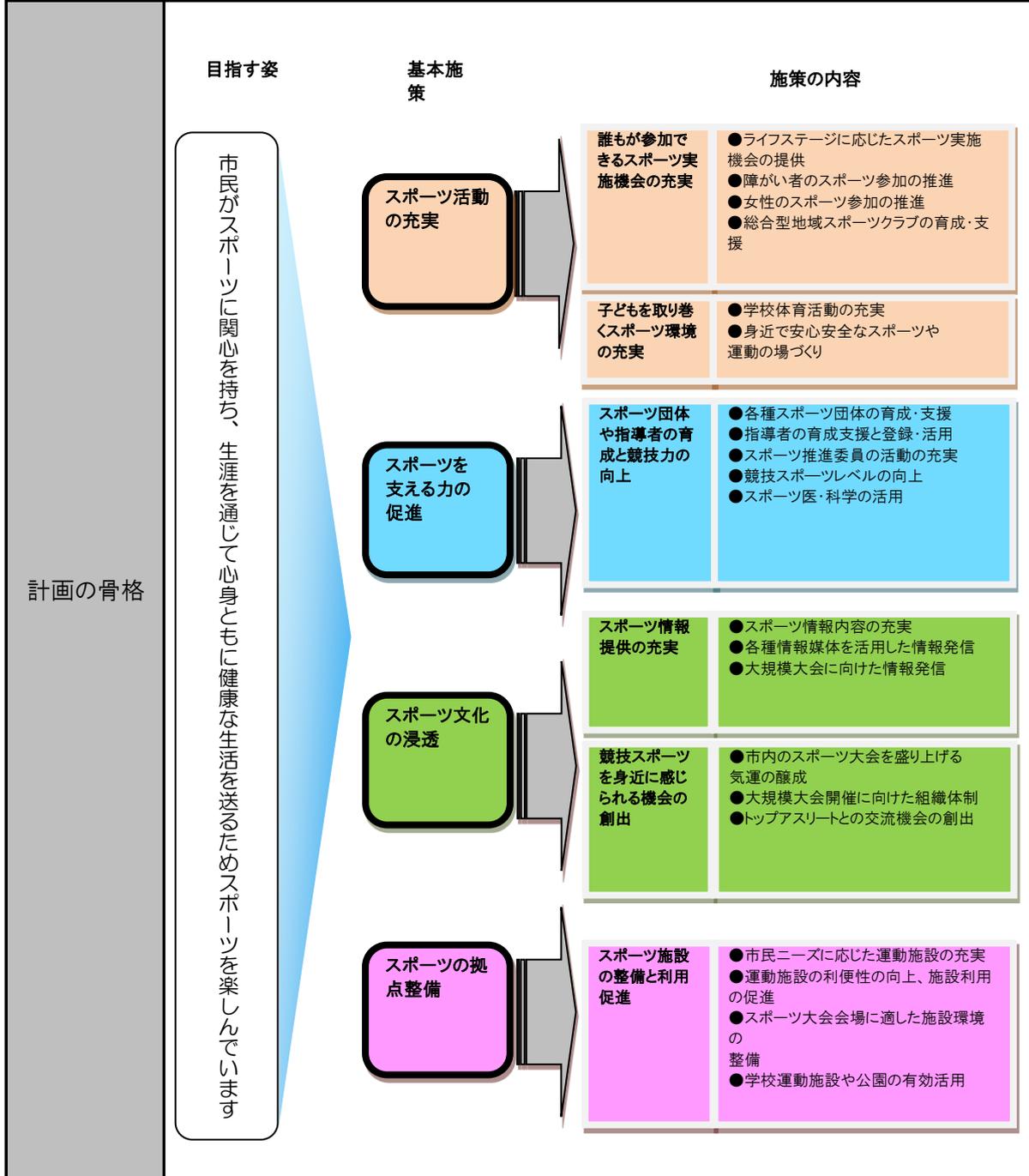


第2次スポーツ推進計画に関する実績等報告書(令和3年度)

(健康福祉部 健康政策課)

■計画の基本情報

計画期間	H 29 ~ R 3 年度
位置付け	本計画は、スポーツ基本法第10条による、地方の実情に則した、スポーツ推進に関する計画として位置付けるものである。また、第2次亀山市総合計画前期基本計画との関連は、基本施策「スポーツの推進」と深く関わり、スポーツの振興の部分で補完するものである。
目的・概要	計画の目的は、教育や健康、福祉、建設など幅広い関連部署との連携を密にし、亀山市らしいスポーツ文化が地域や生活の中に根付き、健康で豊かな暮らしの実現にむけて取り組むための指針とし、もってスポーツの振興に資することである。



■ 成果指標

成果指標名		単位	現状値	実績値 (R3)	目標値
1	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	42.4	55.8	50.0
2	スポーツ関連団体の構成者数	人	4,754	4,483	5,000
3	市や団体等が主催するスポーツ教室・大会の参加者数	人	19,900	16,127	21,000
4	市内の主な運動施設の利用率	%	72.0	74.0	78.0
5					

■ 計画の実績等

取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、大人数が集まる各種スポーツ大会や教室が中止となる中、コロナ対策を講じた上で、総合型地域スポーツクラブや指定管理者等において市民ニーズに対応した教室等が開催された。 ・西野公園施設電気設備改修工事、観音山テニスコート人工芝部分修繕、関B&G海洋センターシャワー用給湯ボイラー更新修繕、関B&G海洋センタープールろ過機修繕等を行い、施設の安全確保や利便性の向上に努めた。 ・激励金支給要綱及び全国大会等出場旅費補助金交付要項に基づき、対象者に激励金の支給と出場旅費の補助を行った。(激励金支給件数:129件)(旅費補助件数:37件)
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ関連団体の構成者数や市や団体等が主催するスポーツ教室・大会の参加者数等は減少したが、一方で、日常生活の変化により、運動不足を感じる人が増え、自宅等で体操やトレーニングを行う人が増加したことから成人の週1回以上のスポーツ実施率は増加したと考えられる。 ・国民体育大会は中止となったが、国民体育大会の開催に向けて整備された施設によるスポーツ環境の充実や、大会成功に向けて官民一体となって醸成してきたスポーツ意識の高まりは、本市のスポーツ文化の浸透に大きく寄与した。
総合計画推進への寄与度	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が誰でも気軽にスポーツや運動に取り組めるよう、幅広い参加機会を提供し、「スポーツ活動の推進」に寄与した。 ・スポーツに関する情報を積極的に提供するとともに、市民の運動実施率向上のためのきっかけづくりに取り組むなど、「スポーツ文化の浸透」を推進した。

反省点・課題	<p>コロナ禍が長引く中、イベントや大会の開催が難しい状況が続いており、今までの対応方法での開催が難しい状況となっている。また、一部施設は国体を契機に整備されてきたが、多くの施設は改修等の対応が必要な状況となっている。</p>
--------	---

今後の方向性	<p>ポストコロナ時代のニューノーマルに対応した手法により、イベント・大会等の開催に向けて、スポーツ推進委員やスポーツ団体と連携して取り組む。また、計画的な施設整備に向けて、中長期的な視点での改修の検討を行うとともに、修繕等による利便性向上に努める。</p>
--------	---

第2次亀山市スポーツ推進計画 令和3年度実績 調査シート

(1) 誰もが参加できるスポーツ実施機会の充実

施策項目	施策の内容	担当G	令和3年度実績	今後の課題
〇ライフステージに応じたスポーツ実施機会の提供	健康づくりが地域の文化になるよう、継続的なスポーツ実施機会の提供に努めます。	スポーツ推進G	誰でも参加しやすく、継続的なスポーツ活動を行うため、総合型地域スポーツクラブの活動に広報協力等で支援を行った。 また、一般財団法人アールピーススポーツ財団が主催する「オクトーバー・ラン&ウォーク2021」に参加し市民の運動実施率向上のためのきっかけづくりをした。	現在、総合型地域スポーツクラブが、誰でも参加しやすく、継続的なスポーツ活動の場を創出する一翼を担っていることから、その活動を広く市民にPRする必要がある。
	誰でも気軽に参加でき、交流の場の創出につながるスポーツイベント等の開催に向けて、各種スポーツ団体やまちづくり協議会などと連携します。	スポーツ推進G	壮年向けに壮年ソフトボール大会、子ども向けにミニバスケットボール大会、女性向けにバレーボール大会、全年齢を対象にニュースポーツ大会（ヘルスパレー）の開催に向けて、各種スポーツ団体と連携した（大会は中止）。また、運動施設指定管理者において、市民ニーズに対応した教室が開催された。	各種大会等の参加者が増えるよう、大会情報の発信等に努める必要がある。
	高齢者でも無理なく安心して運動やスポーツ活動を行うことができる環境づくりを進めます。	高齢者支援G	介護予防教室を6事業所へ委託し実施した。（計12回、延べ152人）*新型コロナウイルス感染症の影響により、年間通じてほとんどの教室が中止。 しゃきしゃき体操教室OB会へ支援を行った。（1地区、13人）	新型コロナウイルスの影響により、教室のほとんどが中止となっており、ウイズコロナやアフターコロナを見据えて実施の仕方を検討する必要がある。
		スポーツ推進G	総合型地域スポーツクラブや運動施設指定管理者において、高齢者向けのスポーツ教室やイベントが開催された。	参加者を増やすため、開催告知や教室の内容等を積極的にPRする必要がある。
	生涯スポーツの推進のため、スポーツ推進委員の取り組みによる地域に根差したスポーツ活動の充実を図ります	スポーツ推進G	誰でも気軽に取り組めるニュースポーツ推進のため、ニュースポーツ大会（ヘルスパレー）を計画したが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	スポーツ推進委員の活動を広く市民にPRし、地域に根差したスポーツ活動を活性化する必要がある。
〇障がい者のスポーツ参加の推進		障がい者支援G	三重県障がい者スポーツ大会をはじめとした各種スポーツイベントに関する情報について、あいあい窓口にてポスター掲示による参加者の募集を行った。	あいあい窓口だけでなく、市内の障がい者事業所等にチラシを配布するなど別の方法を検討する。
	障がい者が、様々な大会やスポーツイベントに参加できるよう環境整備に努め、参加を呼びかけます。	障がい者支援G	パラリンピックの採火式に併せてイベント等企画したものの、新型コロナウイルス感染症蔓延のため市採火式については一般参加なして市職員のみで行った。また、県採火式についても同様に職員のみでの参加を行った。	障がい者が主体の、又は参加できる大型のスポーツ大会やイベントに係る情報収集を行っていく。
		スポーツ推進G	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、スポーツ推進委員に「県スポーツ推進委員障がい者事業部会」に参加していただくことができなかった。障がいのある人たちが施設を利用しやすくなるよう、関B&G海洋センターの腰高水槽の段差解消を行った。	スポーツ推進委員に「県スポーツ推進委員障がい者事業部会」へ参加いただき、障がい者が参加出来るスポーツイベントについて検討する。
	障がい者スポーツ大会等の出場者に激励金を支給し、その活動を支援します。	スポーツ推進G	新型コロナウイルス感染症の影響で三重とこわか大会など、多くの大会が中止となり、激励金申請はなかった。	障がいのある人などのスポーツ活動支援のため、引き続き全国大会等へ出場された方へ激励金を支給し、支援を行う必要がある。
〇女性のスポーツ参加の推進	子育て中の女性などがスポーツ活動に参加できるように、親子で参加できる教室やイベントの開催支援や託児サービスを併設するなど、スポーツ環境の整備に努めます。	スポーツ推進G	スポーツ実施機会のない女性が運動施設へ足を運んでもらうことでスポーツへの興味関心を深めるためのきっかけづくりとして、運動施設指定管理者が文化教室を開催し、運動教室（ヨガなど）への参加を呼び掛けた。	子育て中の女性などがスポーツ活動に参加できるよう、スポーツ実施機会の整備について検討を行う必要がある。
	女性が、様々なスポーツ活動や各種委員・スポーツ団体の運営へ参画するよう呼びかけます。	スポーツ推進G	女性向けのバレーボール大会を企画し、準備を進めた（コロナに起因する中止）。また、運動施設指定管理者において、女性をターゲットにした教室が実施された。	女性が、スポーツクラブの運営や様々なスポーツ活動、スポーツイベント、スポーツ行政などへの参画を促進する必要がある。
〇総合型地域スポーツクラブの育成・支援	クラブの運営に対して、財政面の支援や助言を行います。	スポーツ推進G	総合型地域スポーツクラブが実施する教室及びイベントの情報提供を広報やケーブルテレビによる文字情報等により行った。また、市HPに、各総合型地域スポーツクラブの教室情報の詳細を掲載した。	両クラブとも、会員の増加を図るため、活動内容の広報支援等を行う必要がある。 また、安定した自主運営が行われるよう指導・助言が必要である。
	クラブの円滑な運営に必要な熱意と知識・技術を有する人材の育成・確保のために、研修会等の情報を提供します。	スポーツ推進G	国、県等から提供された研修会などの情報を随時クラブに情報提供を行った。	国、県等から提供された研修会などの情報を、随時収集し、クラブに最新の情報を提供する必要がある。
	クラブに対する市民の理解を深め、認知度の向上を図るための支援を行います。	スポーツ推進G	クラブと連携し、広報、ホームページなどを通じて、市民のクラブの認知度を向上させるような情報発信を行った。	クラブと連携し、広報、ホームページなどを通じて、市民のクラブの認知度を向上させるような情報発信に努める必要がある。

(2) 子どもを取り巻くスポーツの充実

施策項目	施策の内容	担当G	令和3年度実績	今後の課題
○学校体育活動の充実	子どもたちが、体育の授業等を通して運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わい運動技能を高めることができるよう、体力調査等を活用して子どもの体力・運動能力を的確に把握したり、園や学校に専門的指導力を有する外部指導者を派遣したりして、体育の授業や運動部活動等における指導方法の工夫改善を進めます。	教育支援G	市内小学校・公立幼稚園・公私立保育所に体力向上に係る外部講師を派遣し、子どもの体力向上と指導力向上を図った。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた回数の3分の2の実施となった。	引き続き体力向上に係る外部講師を派遣し、さらに子どもの運動機能高めるとともに、子どもたちの体力・運動能力に合った活動内容や指導方法の工夫等、教師の指導力向上を目指す必要がある。
	子どもたちが、幼児期から身体を動かす機会を多くもち、自ら進んで運動に親しむ習慣を身につけられるよう、園・学校生活全体で「1学校（園）1運動プロジェクト」など身体を動かす多様な活動に取り組むとともに、学校の内外での行事や活動などを通して、より積極的に運動やスポーツに親しむ機会づくりに努めます。	教育支援G	各園・学校で継続し「1学校（園）1運動プロジェクト」に取り組んだ。園では、登園後に全園児が集合し、体操、縄跳び、持久走等を実施し、体力の向上を図ることができた。	「1学校（園）1運動プロジェクト」を継続的に取り組むとともに、日常の遊びや園の行事を通して、運動に親しみながら体力の向上を図っていく必要がある。
	子どもたちの運動機会を確保し運動習慣を向上させるため、「せいかつちゃんじシート」など、家庭と連携した生活習慣確立への取り組みを進めます。	教育支援G	8割近くの小学校が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面で就学時健診が実施できなかった。そのため、小学校入学のためのガイドブック「小学校へスイッチオン」を配布し、動画配信で就学前の家庭における運動習慣向上の啓発を行った。	就学前の運動機会の重要性を伝え、さらに取り組む家庭が増えるよう、啓発を進めていく必要がある。
○身近で安心安全なスポーツや運動の場作り	子どもたちの健全育成のため、「総合型地域スポーツクラブ」や「スポーツ少年団」、「放課後子ども教室」など、スポーツを通じて多くの地域の人々と関わり合いを持てるよう参加促進を呼びかけます。	社会教育G	放課後子ども教室では、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、サッカー、ソフトバレー、スポーツ吹き矢、バドミントンなどの種目を、地域の指導者の指導のもと実施することができた。	スポーツを通して子どもが地域の方々と関わりながら楽しみ、関係性を育んでいくという視点を大切にして、継続的に展開する必要がある。
		スポーツ推進G	総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会などのイベント広報に協力し、参加促進に努めた。	引き続き総合型地域スポーツクラブ等において子どもを対象とした教室、親子で参加できるイベント等の開催を要請し、子どもの健全育成と地域の方との関わり合いを持てる機会づくりに努める必要がある。
	スポーツ推進G	幼少期から、スポーツへの関心が高まるよう、親子で一緒に体を動かしたり、友達と外で遊んだりして、体力づくりや仲間づくりができるよう、スポーツ団体やまちづくり協議会と連携して、多様なスポーツの体験機会の提供に努めます。	運動施設指定管理者の自主事業として、幼少期の子どもを対象とした事業が開催され、スポーツ体験機会が提供された。（年間 9種 349回開催）	幼少期から、スポーツへの関心が高まるよう、多様なスポーツの体験機会づくりや情報提供に努める必要がある。
	子どもたちが安心安全に外遊びやスポーツ活動を実施できるよう、公園設備の安全確保や地域防犯力の向上などに努めます。	都市計画G	各公園で「都市公園ネット（40団体）」による公園の安全見守り活動を引き続き実施した。 また、11月18日、2月14日に都市公園運営協議会を開催し、施設修繕や管理に関する安全面について関係者と情報共有するとともに多くの意見をいただいた。	都市公園ネット登録団体は、年々増加してきているので、引き続き、団体増加のための募集を行うよう、指定管理者に働きかけ、子どもたちが安心して利用できる公園管理に繋げる。
		スポーツ推進G	運動施設指定管理者が、日常的に運動施設点検や整備を行いながら公園内を見回り、治安維持、設備の安全確保に努めた。また、西野公園施設の電気設備を改修し設備の安全性を高めた。	施設特性上、不特定多数が出入りすることから、防犯情報収集を行い、常駐する施設管理人による見守りを強化する必要がある。

(3) スポーツ団体や指導者の育成と競技力の向上

施策項目	施策の内容	担当G	令和3年度実績	今後の課題
○各種スポーツ団体の育成・支援	各種スポーツ団体の組織強化や自主的・自発的な支援に取り組みます。	スポーツ推進G	新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、各種スポーツ団体に必要に応じて、情報提供を行った。	各種スポーツ団体が、自主的・自発的に組織を運営出来るような支援を行う必要がある。
	各種スポーツ団体間の連絡調整を図り、行政との協働を推進します。	スポーツ推進G	市主催イベントには、市スポーツ協会やスポーツ推進委員に協力を依頼するなどして、行政との協働を推進したが、新型コロナウイルス感染症の影響で全ての事業が中止となった。	各種スポーツ団体とよりよい協力関係を構築するため、各種スポーツ団体との情報共有に努める必要がある。
	各種スポーツ団体の広報活動や情報公開について、積極的に推進するよう働き掛け、必要に応じて助言を行います。	スポーツ推進G	各種スポーツ団体の広報活動を支援するため、広報やホームページを活用して、支援を行った。	各種スポーツ団体と連携し、広報活動の支援を行う必要がある。また、市のホームページでスポーツ団体の活動について、広くPRする必要がある。
○指導者の育成支援と登録・活用	各種スポーツ団体などに働き掛け、講習会や研修会などの機会を通じて、指導者の育成を支援します。	スポーツ推進G	各種スポーツ団体へ、講習会や研修会などの情報提供を行った。	各種スポーツ団体と連携し、講習会や研修会を通じた指導者の育成について支援する必要がある。
	学校における安全な体育指導及び運動部活動の推進のため、専門的で効果的な練習を行うことができるよう、教職員など指導者の資質向上に努めます。	教育研究G	集合して実技講習等を行うことはできなかったが、指導法の交流をする場を設け、情報交換を行った。また、指導資料の配布を行った。	実際の実技講習のような研修会を行うことが難しい。
	指導者の「人材バンク」への登録を促進するとともに、その活用が図られるよう、幅広く制度の周知を図ります。	社会教育G	令和3年度は、18のスポーツレクリエーション関係の団体・個人の登録があったが、利用はなかった。	人材バンクの活用を図るため、事業の周知に努める必要がある。
○スポーツ推進委員の活動の充実	スポーツ推進委員としての資質の向上と技能の取得を図るため、定期的な研修会などへの参加を推進します。	スポーツ推進G	三重県スポーツ推進委員協議会による実技研修会に参加いただき、スポーツ推進委員の資質向上と技能の習得に努めた。	スポーツ推進委員の資質向上と技能の取得のため、引続き東海地域や県などのスポーツ推進委員連絡協議会が開催する研修会への参加を要請していく必要がある。
	スポーツ推進委員が、スポーツ活動のコーディネーターとして、積極的に地域に関わるような環境づくりに努めます。	スポーツ推進G	地域における軽スポーツ普及のため、スポーツ推進委員が中心となってし主催大会の計画をしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で全ての事業が中止となった。	スポーツ推進委員が中心となって、地域におけるスポーツ活動を推進できる体制づくりが必要である。
○競技スポーツレベルの向上	各種スポーツ団体と連携を図り、トップアスリートの育成や指導者の資質向上を支援します。	スポーツ推進G	三重バイオレットアイリスの選手による小学生を対象とした、ハンドボール教室及びヴィアティン三重の選手による中学生を対象としたバレーボール教室を運動施設指定管理者が企画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	トップアスリートの育成や、指導者の資質向上を図るため、指導者研修会等の情報を、各種スポーツ団体に提供する必要がある。
	全国大会等に出場する選手等に激励金の支給を行うことで、地元アスリートの発掘、育成、支援につなげます。	スポーツ推進G	激励金支給要綱及び全国大会等出場旅費補助金交付要項に基づき、対象者に激励金の支給と出場旅費の補助を行った。(激励金支給件数：129件)(旅費補助件数：37件)	激励金及び全国大会出張費について、市民に周知する必要がある。また、制度が2つあり市民にとって手続きがわかりにくい側面があるため、統合することを視野に入れ、制度のあり方を検討する必要がある。
○スポーツ医・科学の活用	各種スポーツ団体や指導者が、スポーツ傷害の防止から競技力の向上まで、スポーツ医・科学の手法や考え方を取り入れて、スポーツ指導を行えるよう、積極的に習得する機会づくりを支援します。	スポーツ推進G	各種スポーツ団体に対し、スポーツ技術やスポーツ医・科学の知識に関する講習会や研修会の情報提供を行った。	スポーツ技術やスポーツ医・科学の知識に関する講習会や研修会の情報収集を行う必要がある。

(4) スポーツ情報提供の充実

施策項目	施策の内容	担当G	令和3年度実績	今後の課題
○スポーツ情報内容の充実	市や、指定管理者、各種スポーツ団体が主催するスポーツイベントや各種教室・研修会などの情報を積極的に発信します。	スポーツ推進G	亀山市のホームページと運動施設指定管理者により開設されたホームページをリンクさせ、施設の利用案内や利用状況についての情報提供に努めた。また、運動施設指定管理者がFacebookを活用し、自主事業の開催案内や施設の紹介等を行った。	運動施設指定管理者と連携し、イベントや教室などについて、ホームページや広報、Facebook等の情報媒体を活用し、情報提供に努める必要がある。
	自宅で気軽に行えるような、健康管理や体力向上に効果的な運動などを紹介します。	健康づくりG	トレーニング室を休止したことに伴い、感染対策のため、定員を少なくし、定期的（7か月間月2回）に運動教室を開催した。（運動教室 13回 延67人）	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の健康づくり活動のニーズも変化している。感染対策を考慮した周知啓発を行っていく。
		スポーツ推進G	ヨガのDVD、ラジオ体操CDの貸出を行い、ラジオ体操CDの貸出実績は1回であった。東野公園体育館において、ニューススポーツ用具の貸出を行った。	ヨガのDVD、ラジオ体操CDの貸出について、広く周知を行う必要がある。東野公園体育館で保管しているニューススポーツ用具の老朽化が進んでいるため、用具の修繕・更新を行う必要がある。
	各種スポーツ団体などと連携して、障がい者や女性のスポーツ活動の活性化につながる情報提供を推進します。	スポーツ推進G	各種スポーツ団体等と連携して、障がい者や女性のスポーツの普及啓発に関する情報を、広報、ホームページなどを通じて情報提供に努めた。	各種スポーツ団体等と連携して、広報、ホームページなどを通じて、障がい者や女性のスポーツの普及啓発に関する情報を発信していく必要がある。
	運動施設の利用方法や利用状況、施設の概要について、情報を提供します。	スポーツ推進G	亀山市のホームページと運動施設指定管理者のホームページをリンクさせ、施設の利用案内や利用状況についての情報提供に努めた。	運動施設指定管理者と連携し、施設の利用案内や利用状況などについて、ホームページや広報、Facebook等の情報媒体を活用し、情報提供に努める必要がある。
	学校体育施設開放事業や激励金支給制度などのスポーツ推進施策が活用されるよう制度の周知を図ります。	スポーツ推進G	広報、ホームページ等を通じて、激励金支給制度及び全国大会出場旅費補助事業や学校開放事業など市のスポーツ推進施策についての情報提供を行った。	引き続き、市のスポーツ推進施策について周知を行う必要がある。
○各種情報媒体を活用した情報発信	広報かめやまやホームページ、ケーブルテレビなどを利用した、市民に分かりやすく入手しやすい情報の提供に努めるとともに、新たな情報媒体の活用を検討します。	スポーツ推進G	広報やホームページのほか、ケーブルテレビ、Facebookを活用して、市民が分かりやすいスポーツ情報の提供に努めた。	引き続き、広報・ホームページ、ケーブルテレビ、Facebookを活用して、市民がわかりやすいスポーツ情報の提供に努める必要がある。また、新たな情報媒体の活用を検討を続ける必要がある。
	各種スポーツ団体が発行する機関誌などを通じて、様々なスポーツ情報が提供されるよう働きかけます。	スポーツ推進G	各種スポーツ団体が発行する会報や、総合型地域スポーツクラブが実施する事業チラシを、広報を通じて全戸配布するなど、市民に情報を発信した。	引き続き、各種スポーツ団体等と連携して、広報、ホームページなどを通じて、スポーツの意義や重要性について理解を深められる情報を発信していく必要がある。
○大規模大会に向けた情報発信	スポーツ観戦を楽しめるように、スポーツの意義や、競技ルール等の幅広い情報を提供します。	スポーツ推進G	各種スポーツ団体が発行する会報や、総合型地域スポーツクラブが実施する事業チラシを、広報を通じて全戸配布するなど、市民に情報を発信した。	引き続き、各種スポーツ団体等と連携して、広報、ホームページなどを通じて、スポーツの意義や重要性について理解を深められる情報を発信していく必要がある。
	主要な大会に参加する市内のチームやトップアスリートの活躍など、多くの人に関心を持ってもらえる情報の提供に努めます。	スポーツ推進G	全国大会等に出場する選手の市長表敬訪問の様子をフェイスブックに掲載したり、マスコミ関係者の問い合わせ等に積極的に協力した。	各種スポーツ団体等と連携して、広報、ホームページなどを通じて、団体の活動や、トップアスリートに関する情報を発信していく必要がある。
	県や他市町と連携を図り、広域的な情報提供に努めます。	スポーツ推進G	県営スポーツ施設や他市町の発行している広報誌などを、市内運動施設に配架し、スポーツの場の充実に努めた。	運動施設指定管理者等と連携し、県内運動施設と連携してスポーツの場の充実に努める必要がある。

(5) 競技スポーツを身近に感じられる機会の創出

施策項目	施策の内容	担当G	令和3年度実績	今後の課題
○市内のスポーツ大会を盛り上げる気運の醸成	市内で開催されるスポーツ大会やイベントのほか、地元アスリートが出場する競技会等について積極的にPRし、スポーツの楽しみや応援する喜びを感じられるよう、広報媒体を通じてスポーツ観戦を推進します。	スポーツ推進G	新型コロナウイルス感染症の影響により多くが中止となったが、市内で開催されるスポーツ大会やイベントを広報、ホームページ等で情報提供を行った。全国大会等に出場する選手が市長表敬訪問を行った際には、Facebookでの発信を行った。	関係団体等と連携し、大会やイベントの開催、地元アスリートが出場する競技会等の情報集約に努める必要がある。
	市内で継続して行われている江戸の道シティマラソンや、亀山市民駅伝大会等のスポーツ大会が継続して開催されるよう、課題の検討を行い、指導・助言を行います。	スポーツ推進G	市内で継続して行われている亀山市民駅伝大会等のスポーツ大会が開催出来るよう、関係団体には、必要に応じて、新型コロナウイルス感染症に関する情報提供を行った。	大会がマンネリ化することなく、長く参加者に愛される大会とするように、指導・助言を続けていく必要がある。
○全国規模の大会開催に向けた受け入れ体制の整備	インターハイや、国体の開催に向けて、実行委員会及び準備委員会を設置するとともに、大会開催後も継続できるような、様々な団体と連携した取り組み体制を構築します。	スポーツ推進G	国民体育大会の開催に向け、啓発イベントの開催や競技団体や関係機関と協議・調整を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、国民体育大会は中止となった。	関係者と協議を進めながら、今後においても継続出来る取り組み体制を検討する必要がある。
	大会運営がスムーズに行われるよう、スポーツボランティア等の育成を図ります。	スポーツ推進G	国民体育大会の開催に向け、啓発イベントの開催や競技団体や関係機関と協議・調整を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、国民体育大会は中止となった。	今後においても、全国規模の大会開催に向けたボランティア育成体制を検討する必要がある。
○トップアスリートとの交流機会の創出	子どもたちに夢を与え、将来トップアスリートを目指そうという気概を育むため、トップアスリートの試合や練習を見る機会、トップアスリートと交流できる機会づくりに努めます。	スポーツ推進G	運動施設指定管理者が、バレーボールV2リーグのヴィアティン三重のホームゲームを誘致し、トップレベルの試合を観戦する機会を提供した。	有名スポーツ選手との交流の場を創出しているスポーツ団体等を支援し、子どもたちに夢を与え、将来トップアスリートを目指そうという気概を育む必要がある。

(6) スポーツ施設の整備と利用促進

施策項目	施策の内容	担当G	令和3年度実績	今後の課題
○市民ニーズに応じた運動施設の充実	市民ニーズを反映した、快適な利用環境を提供できるよう、継続的な整備、修繕などを行い、施設の安全確保を図ります。	スポーツ推進G	運動施設指定管理者と連携し、継続的な施設整備、修繕などに取り組み、施設の安全確保に努めた。(西野公園施設電気設備改修工事、観音山テニスコート人工芝部分修繕、関B&G海洋センターシャワー用給湯ボイラー更新修繕、関B&G海洋センタープールろ過機修繕など)	既存施設の利用環境が維持できるよう運動施設指定管理者と連携し、継続的に施設修繕等を行い、施設の安全確保に努める必要がある。
	高齢者などが容易に集えるよう、運動施設への交通アクセスの確保に努めます。	交通政策G	コミュニティ系バスの運行継続によりバス路線でのアクセスを維持するとともに、定期券及び交通系ICシステムの導入、回数券の見直しを行い、運動施設への交通利便性の向上に努めた。	コミュニティ系バスの継続運行及び乗合タクシー制度活用の周知を図る必要がある。
	高齢者や障がい者に配慮した施設のバリアフリー化を推進するとともに、災害時の避難所機能を確保するための施設整備を推進します。	スポーツ推進G	高齢者や障がい者に配慮した施設のバリアフリー化を推進した。	高齢者や障がいのある人に配慮した施設整備を計画的に進める必要がある。
○運動施設の利便性の向上、施設利用の促進	公共施設予約システムについて、利用者の利便性が向上するよう充実を図ります。	スポーツ推進G	利用者からの意見等を取り入れながら、運動施設指定管理者が窓口等で使い方について説明し、利用者が予約システム入力を円滑に出来るように手助けした。	利用者からの要望等を随時運動施設指定管理者と情報共有し、よりよい運用方法について討する必要がある。また、システムの内容についても検証が必要である。
	市民が運動施設を公平に、快適に利活用できるよう、指定管理者制度による効果的な運営を図ります。	スポーツ推進G	指定管理者制度により市民が公平に快適に利活用できるよう、運動施設指定管理者によって適切に管理運営がされた。	利用者が快適にスポーツに取り組めるよう、運動施設指定管理者による適正な管理運営がされるよう指導する必要がある。
	県のスポーツ施設や他市町のスポーツ施設などと連携を図り、スポーツの場の充実に努めます。	スポーツ推進G	県営スポーツ施設や他市町の発行している広報誌などを、市内運動施設に配架し、スポーツの場の充実に努めた。	運動施設指定管理者や県内運動施設と連携してスポーツの場の充実に努める必要がある。
○スポーツ大会会場に適した施設環境の整備	各種スポーツ大会に適した施設整備に努めます。	スポーツ推進G	観音山テニスコート人工芝部分修繕を実施した。	運動施設指定管理者や関係者等から聞き取りを行い、優先順位を考えた長期計画的に施設整備を進める必要がある。
	今後本市において、大規模大会の開催が予定されていることから、円滑な大会運営ができるような施設整備に努めます。	スポーツ推進G	競技会場及び運営に必要な看板を作成、設置し円滑な大会運営ができるよう努めた。なお、第76回国民体育大会(三重とこわか国体)は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	国民体育大会開催のために整備した施設設備の今後の利活用について検討する必要がある。
○学校運動施設や公園の有効活用	地域におけるスポーツ活動の拠点施設となる学校体育施設の整備・充実に努め、施設の活用を促進します。	教育総務G	亀山中学校体育館の床におけるささくれやひび割れ箇所の部分的な床材張替え、中部中学校体育館の雨漏り補修、屋生小学校や亀山南小学校体育館照明にかかる配線関係の修繕等を実施し、学校体育施設の安全な利用を促進した。	老朽化が進みつつある各学校の体育施設について、長寿命化を見据えた計画的な整備を行うため、その前段として、状況調査等を含めた長寿命化計画の策定が必要である。
		スポーツ推進G	学校体育施設開放事業に関することをホームページに掲載し、利用促進を図った。なお、屋外施設の年間修繕件数は0件であった。	地域住民のスポーツなどの場となる学校体育施設について、適宜施設整備を行い、学校活動に支障のない範囲で施設の活用を促進する必要がある。
	地域の公園については、市民がスポーツや運動を通じた地域交流の場として活用できるよう適切な維持管理に努めます。	都市計画G	指定管理者により4回/月、遊具等の日常点検を実施した。また、専門業者による春秋年2回の遊具定期点検を実施し不良箇所の把握に努め必要な修理を実施した。開発により帰属された公園のうち、川合第1公園(10月)とみずほ台第6公園(3月)に関して開設告示を行った。	日常点検や遊具の定期点検において、指摘された不良遊具については、初期対応における使用禁止措置やその巡視などの対応はできているが、遊具の機能回復など予算措置が必要な対応については、今後、大規模改修も含めて対処方法を検討する必要がある。